



**2018年3月期 第2四半期  
決算説明資料  
2017年11月17日**

証券コード：9324

<http://www.yasuda-soko.co.jp/>

## 1. 環境認識

---

## 2. 2018年3月期 第2四半期（上期）の実績

---

## 3. 2018年3月期 通期の見通し

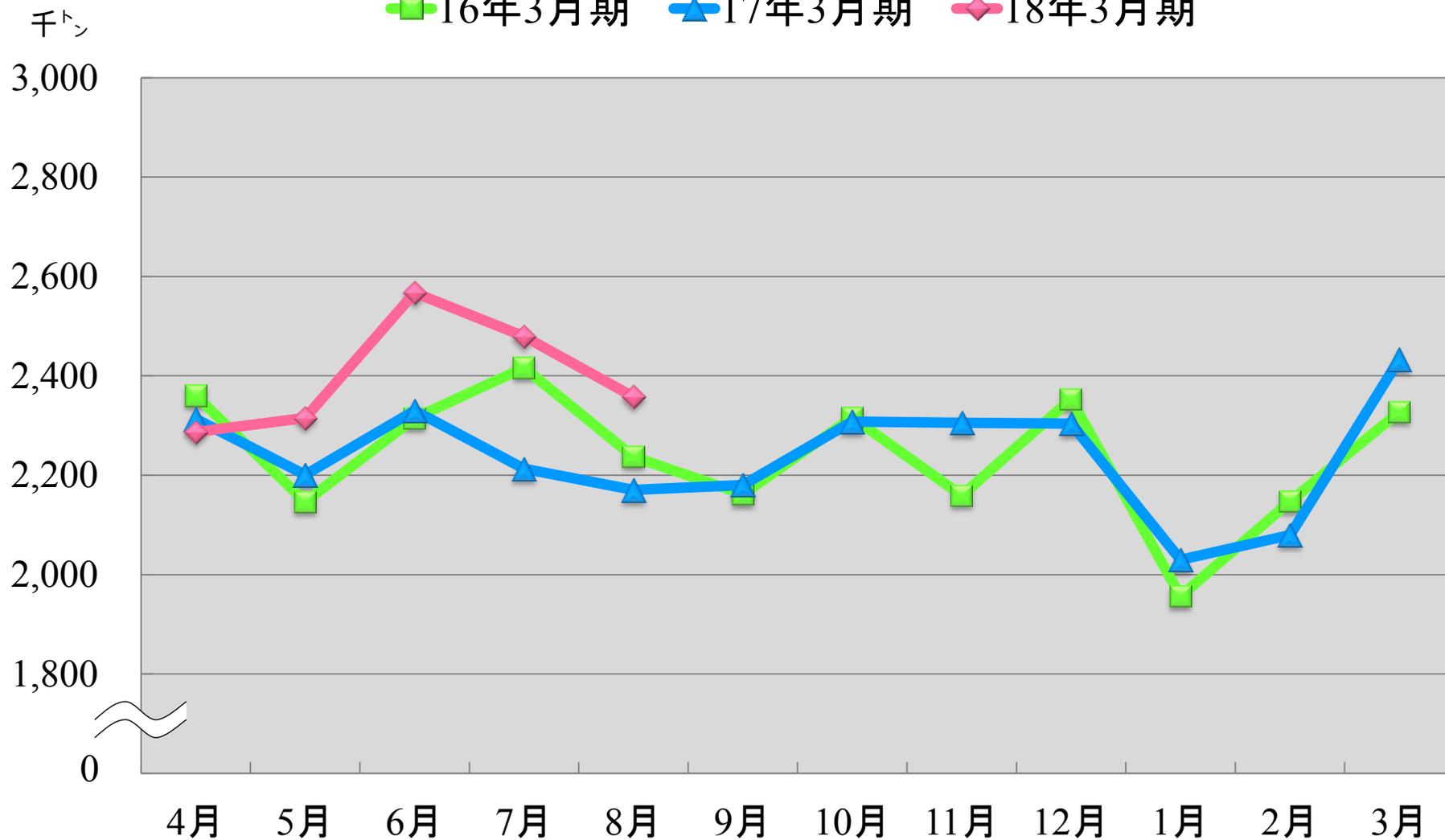
---

# 1. 環境認識

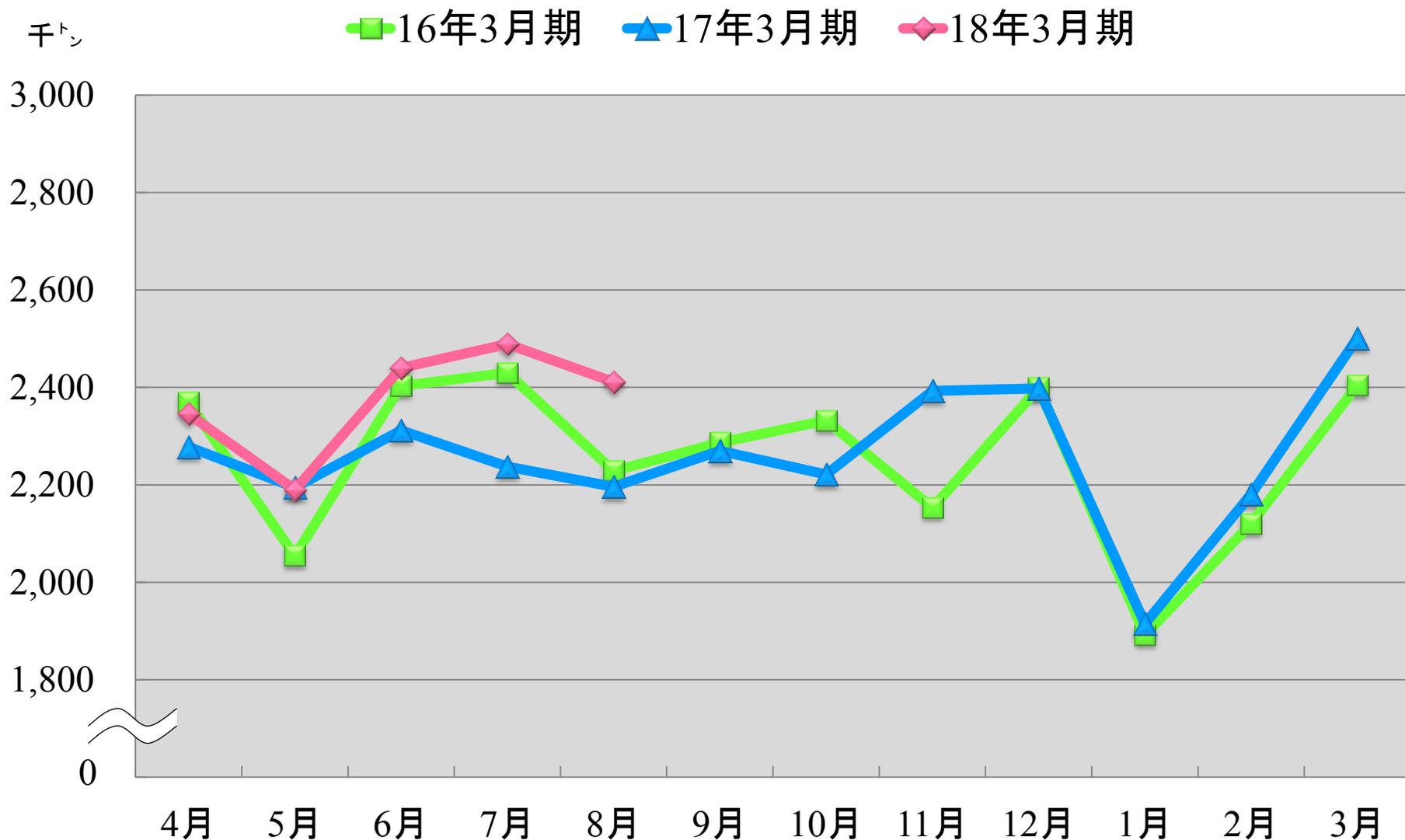
# 普通倉庫 2 1 社統計 入庫高



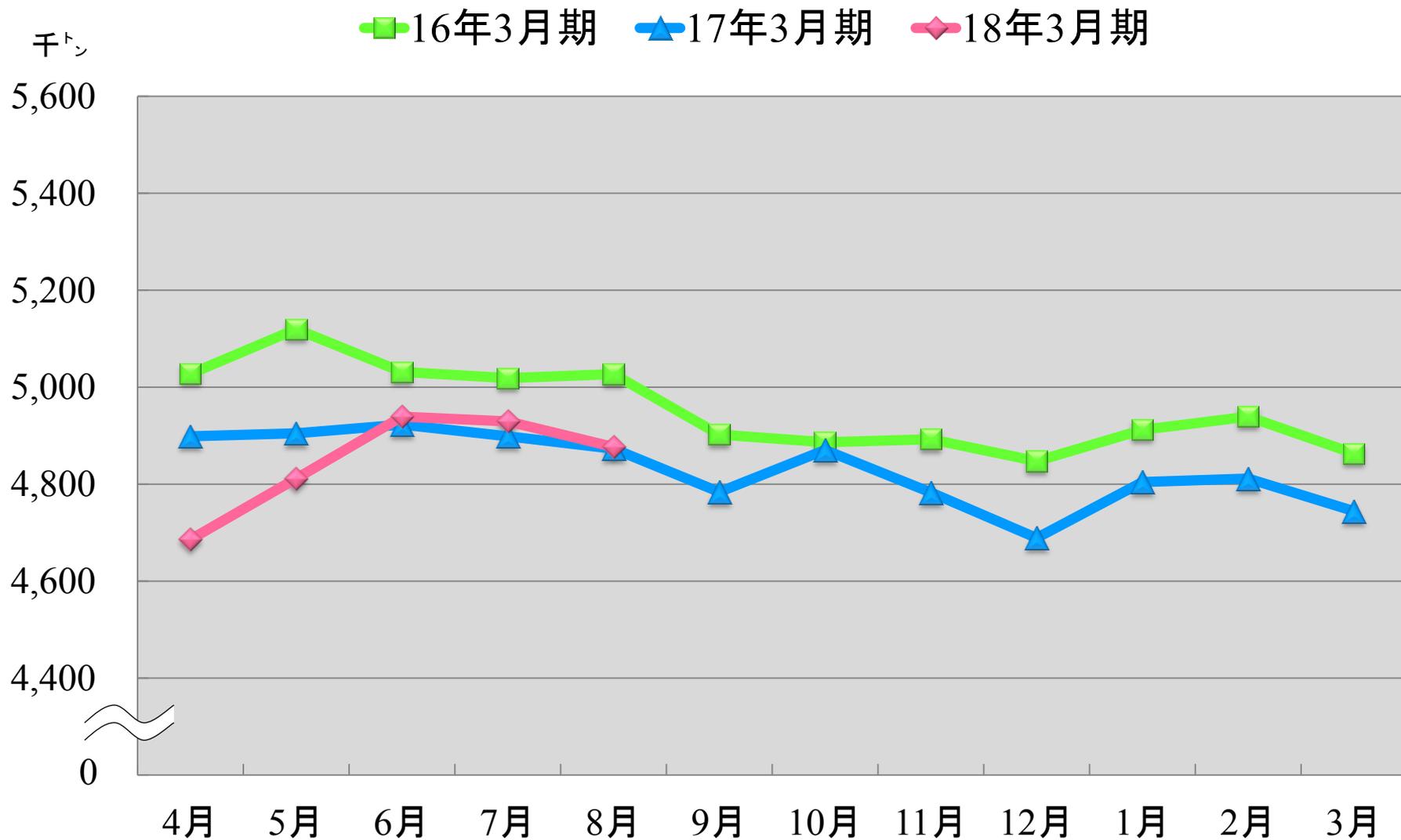
■ 16年3月期 ▲ 17年3月期 ◆ 18年3月期



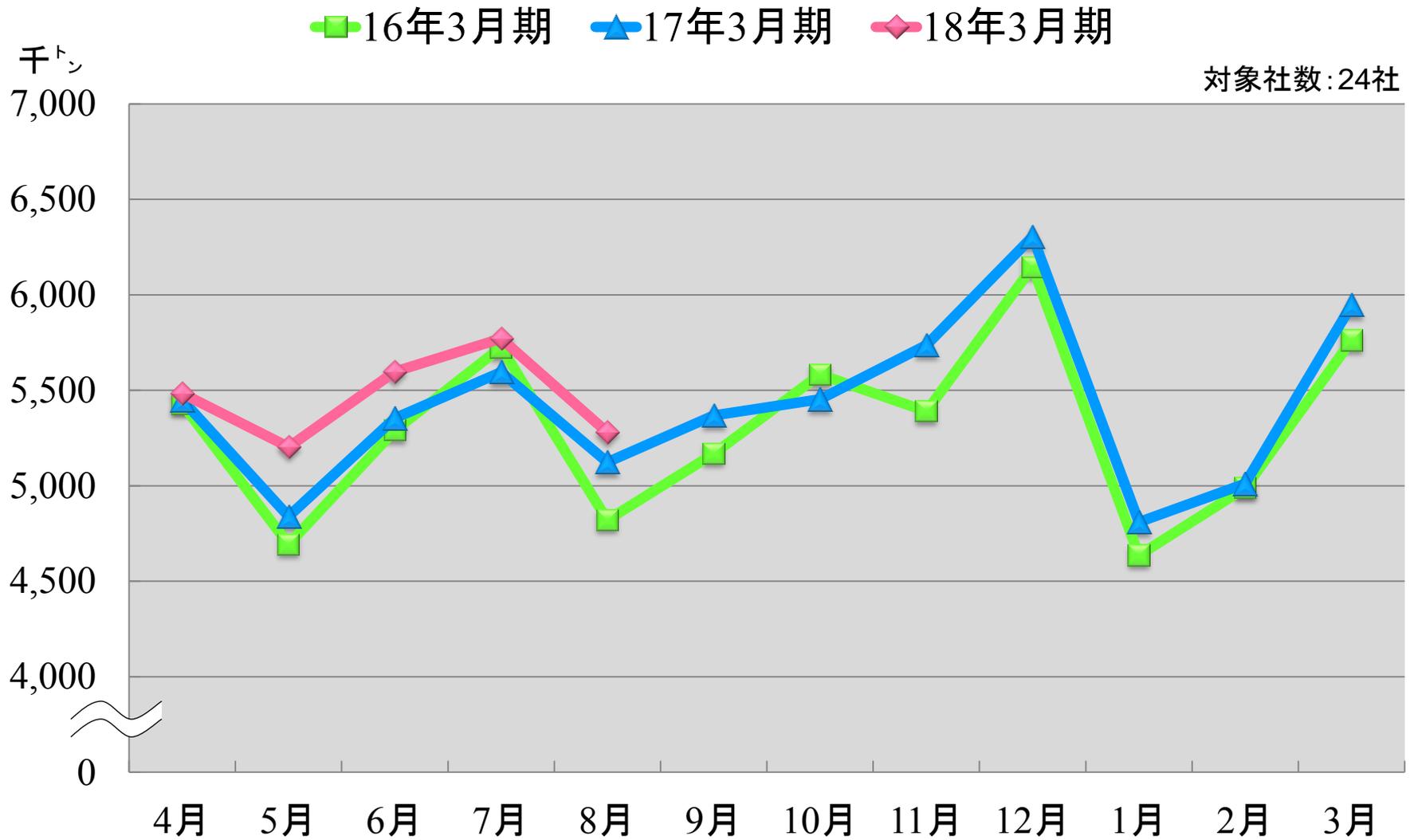
# 普通倉庫 2 1 社統計 出庫高



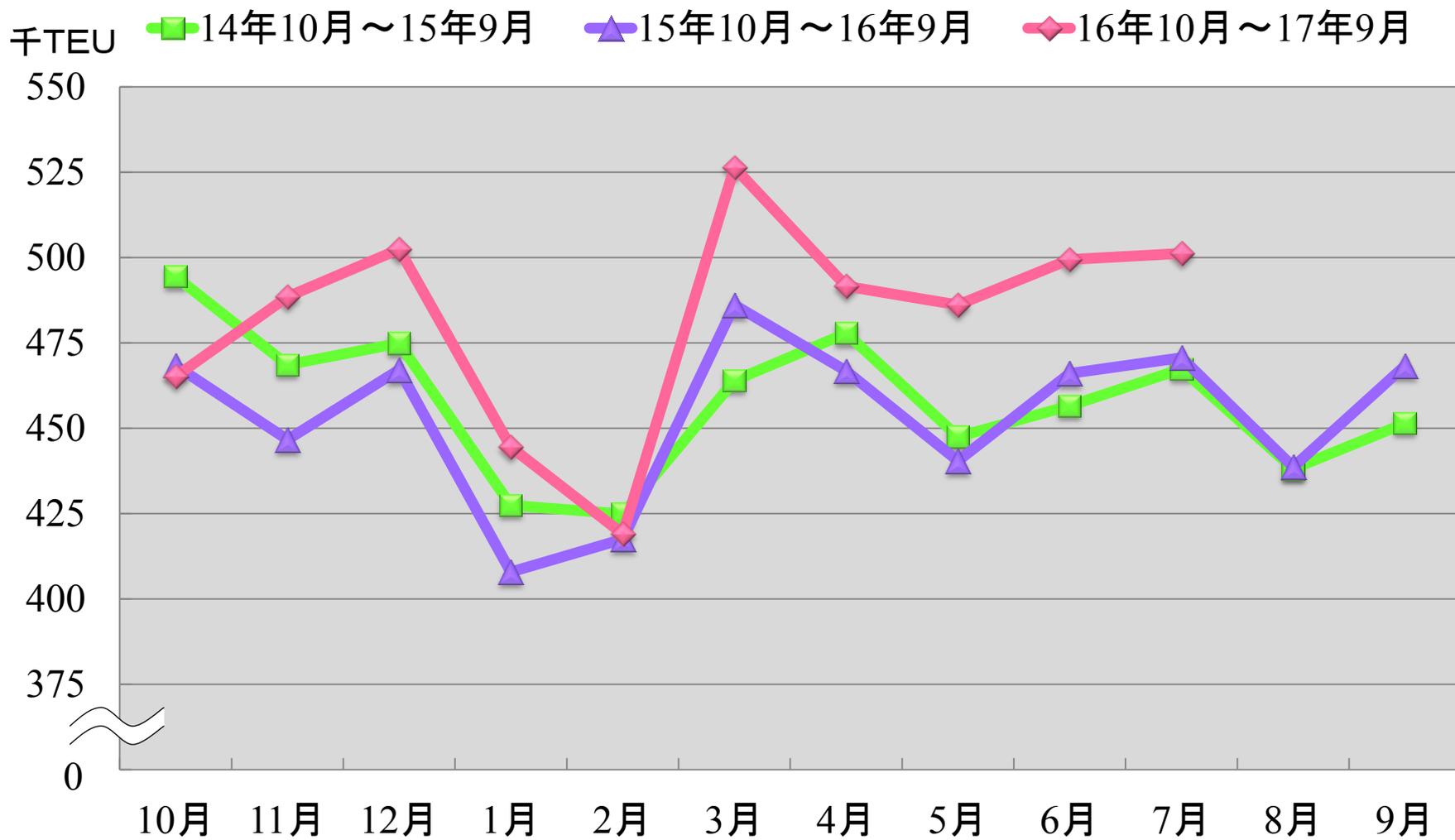
# 普通倉庫 2 1 社統計 保管残高



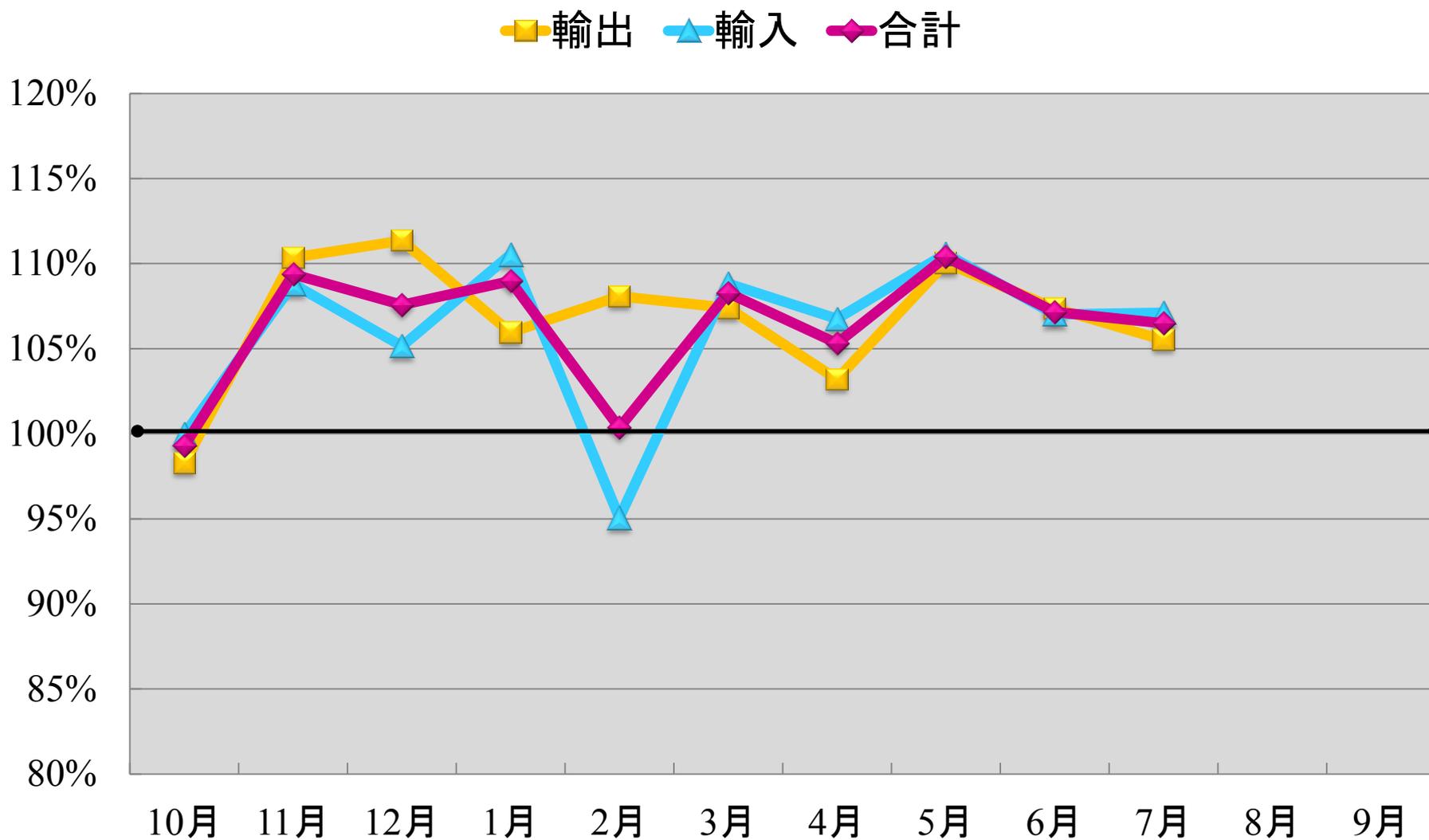
# 特積貨物輸送トン数



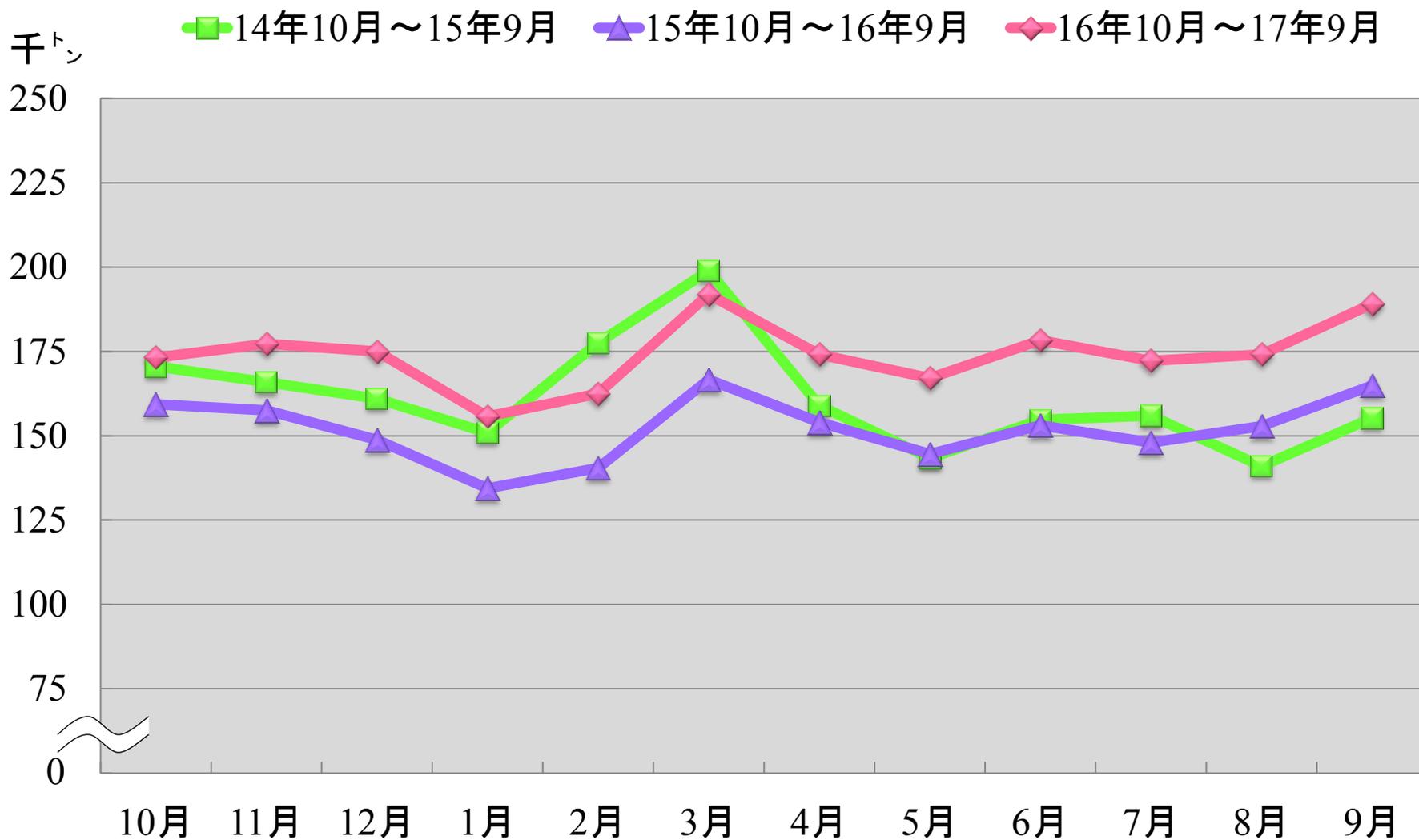
# コンテナ取扱本数（京浜港） 輸出入合計



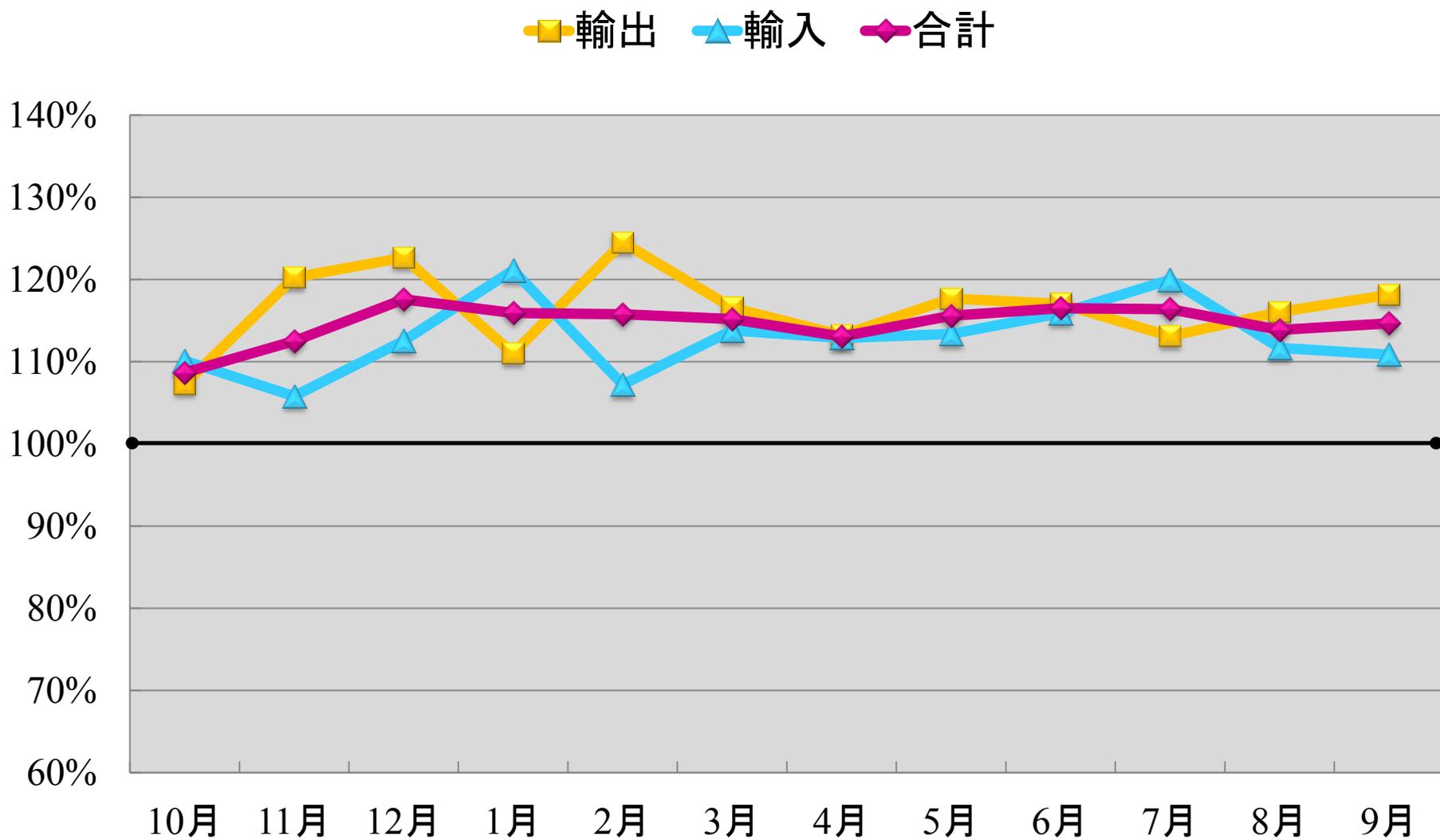
# コンテナ取扱本数（京浜港） 前年同月比

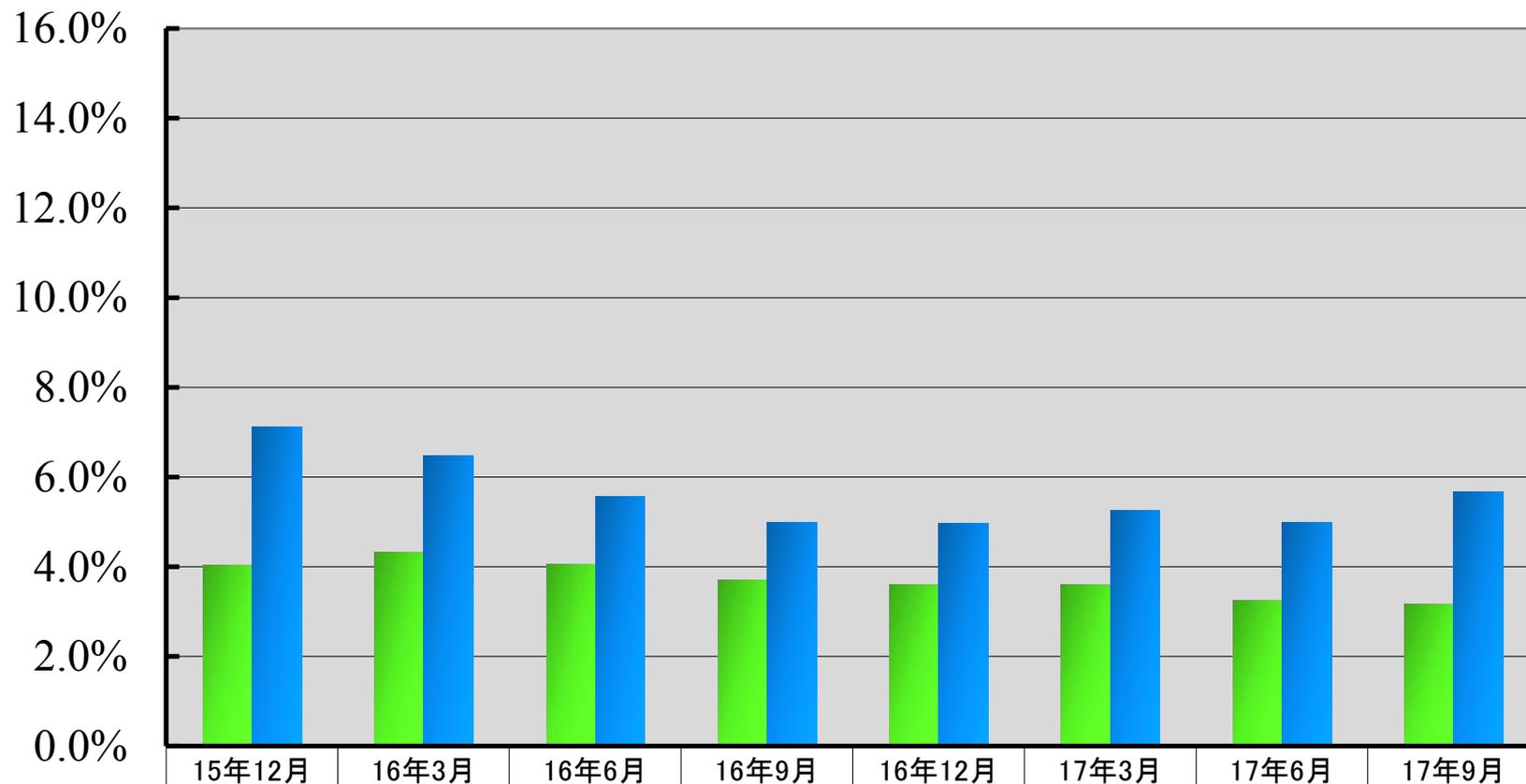


# 国際航空貨物取扱量 輸出入合計



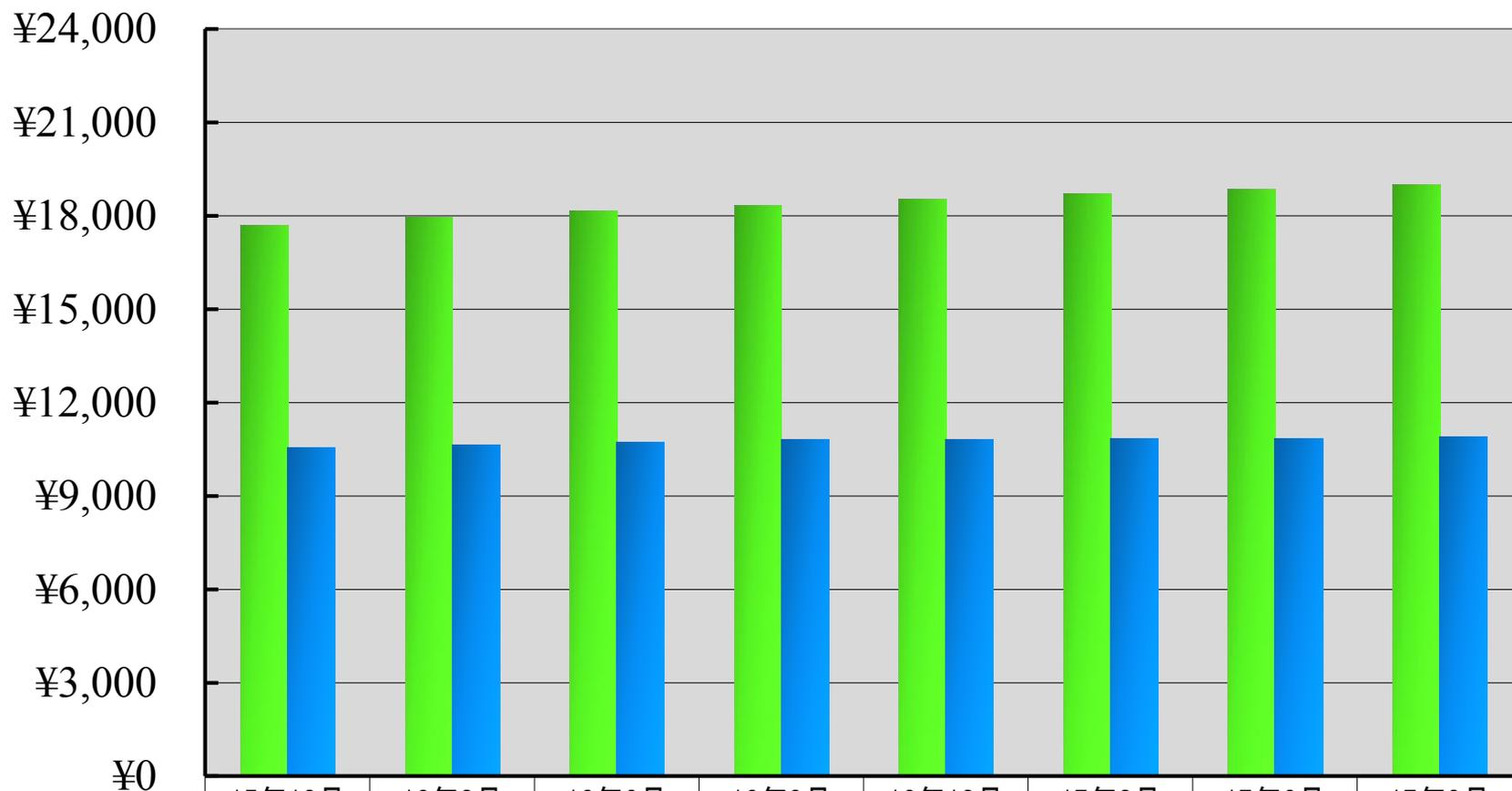
# 国際航空貨物取扱量 前年同月比





■ 東京ビジネス地区	4.0%	4.3%	4.1%	3.7%	3.6%	3.6%	3.3%	3.2%
■ 横浜ビジネス地区	7.1%	6.5%	5.6%	5.0%	5.0%	5.3%	5.0%	5.7%

# 募集賃料相場（円／坪）



■ 東京ビジネス地区	¥17,692	¥17,973	¥18,179	¥18,336	¥18,540	¥18,730	¥18,864	¥18,995
■ 横浜ビジネス地区	¥10,565	¥10,649	¥10,731	¥10,809	¥10,813	¥10,849	¥10,846	¥10,917

## 2. 2018年3月期 第2四半期（上期）の実績

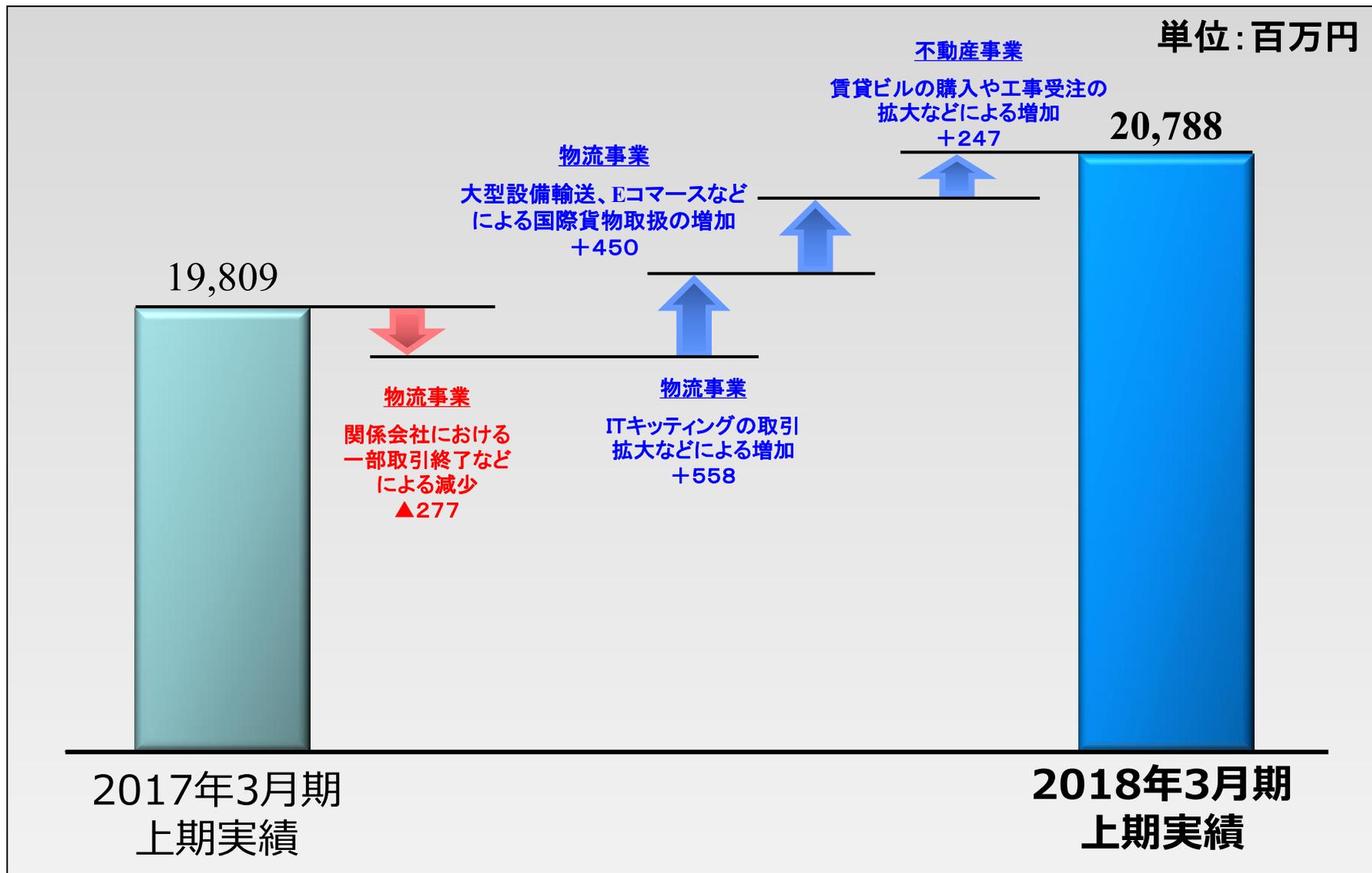
---

単位：百万円

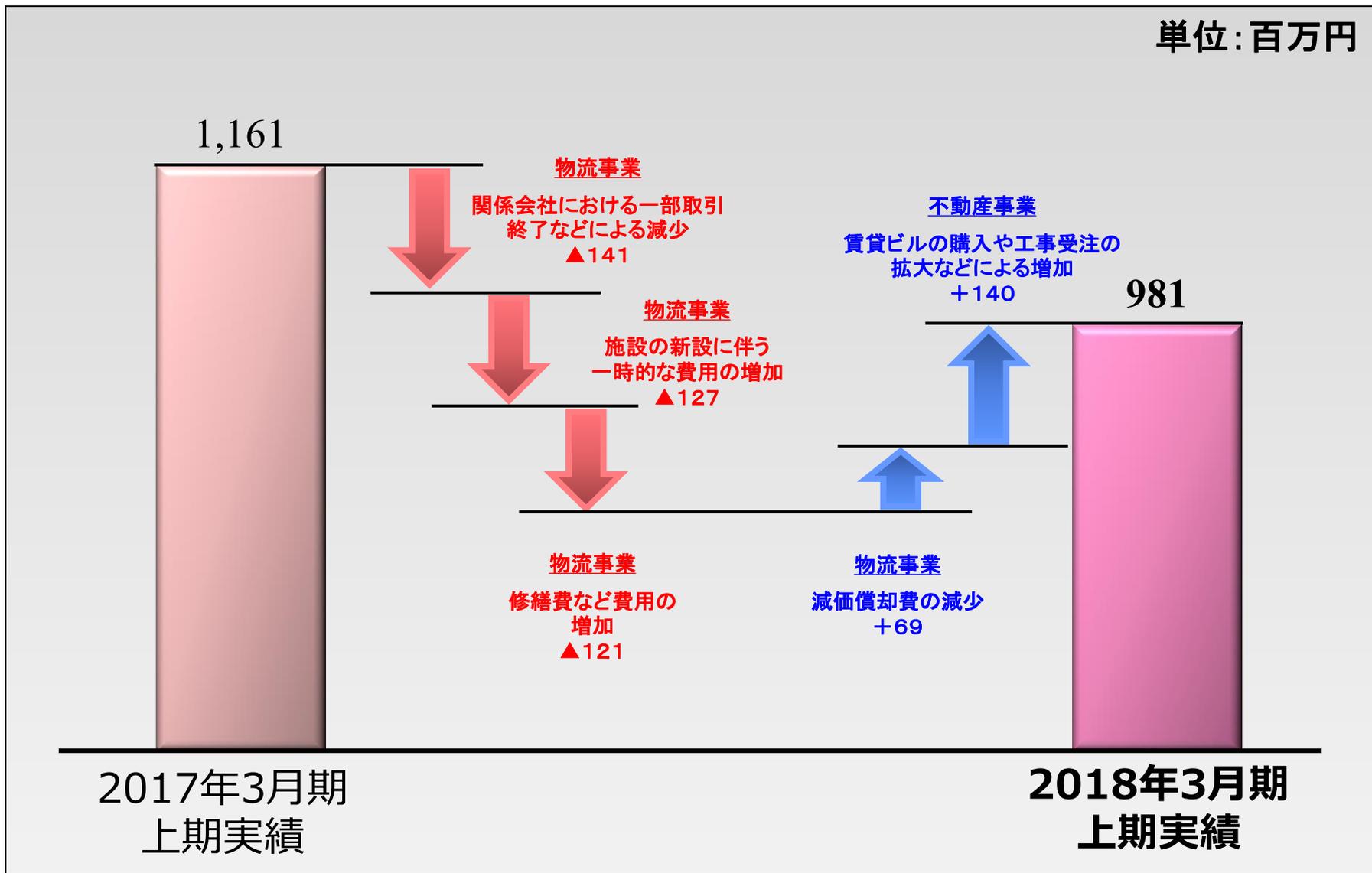
前年同期対比	連結		前年同期比	
	前期上期	今期上期	増減額	増減率
営業収益	19,809	20,788	979	4.9%
営業利益	1,161	981	▲180	▲15.5%
経常利益	1,414	1,266	▲148	▲10.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	929	838	▲91	▲9.8%
営業収益営業利益率	5.9%	4.7%	▲1.2pt	—
四半期純利益／株（円）	30.64	28.43	▲2.21	▲7.2%

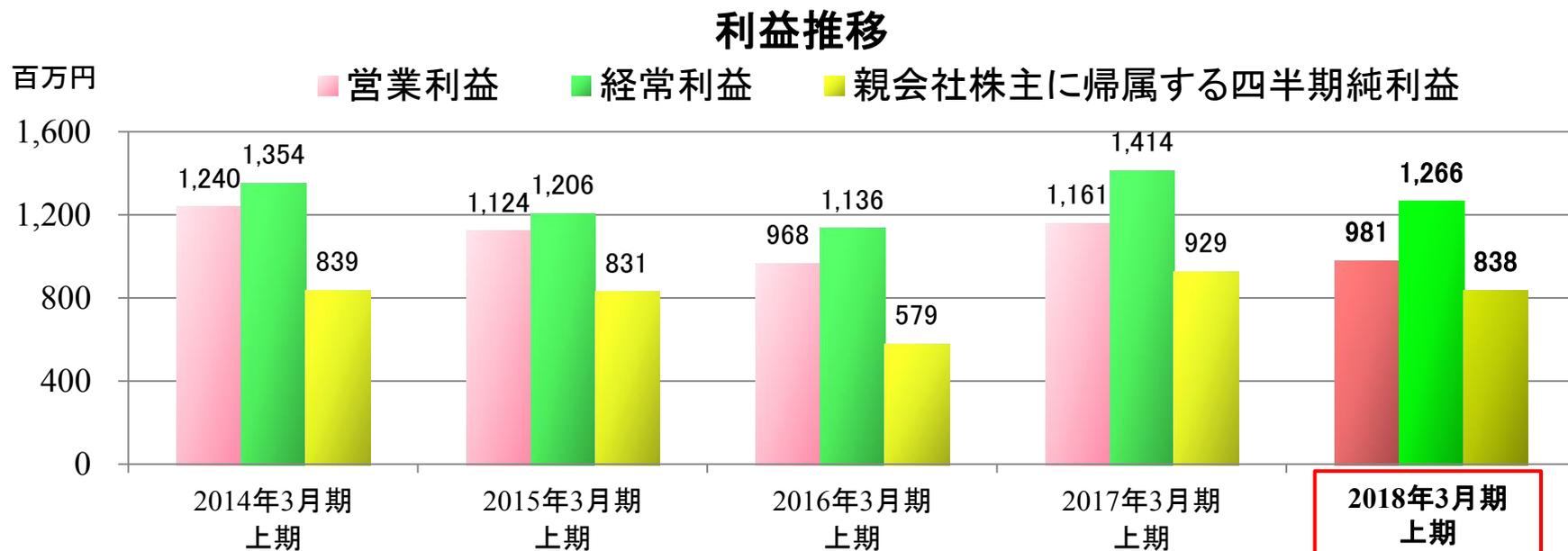
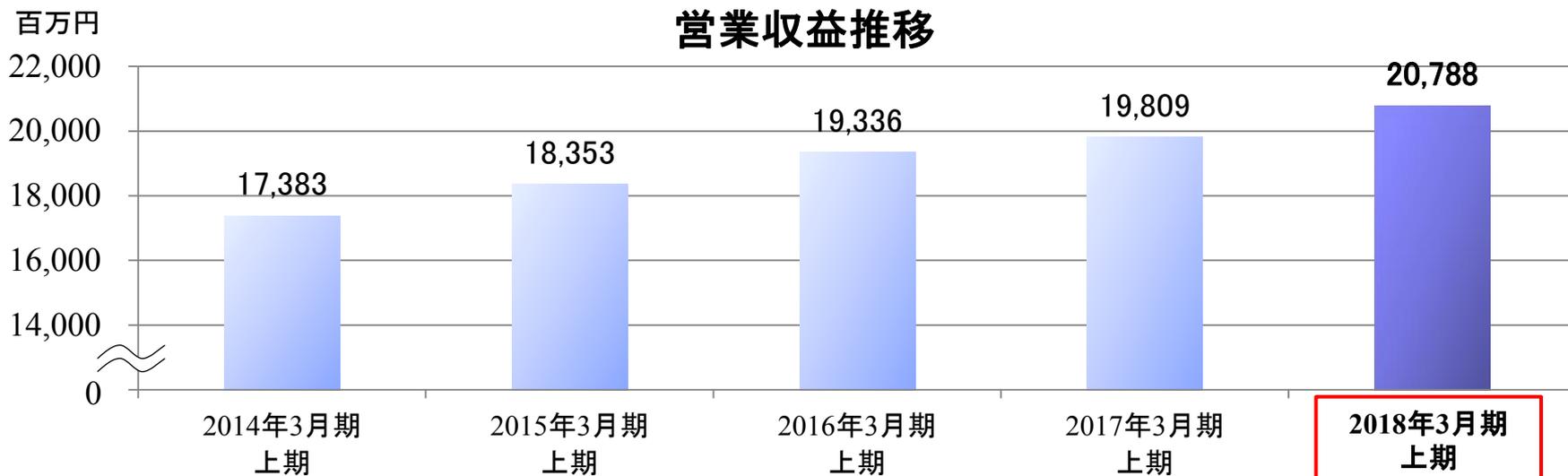
期初予想対比	連結		期初予想比	
	今期上期 期初予想	今期上期 実績	増減額	増減率
営業収益	20,600	20,788	188	0.9%
営業利益	670	981	311	46.4%
経常利益	950	1,266	316	33.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	630	838	208	33.2%

# 営業収益の主な変動要因



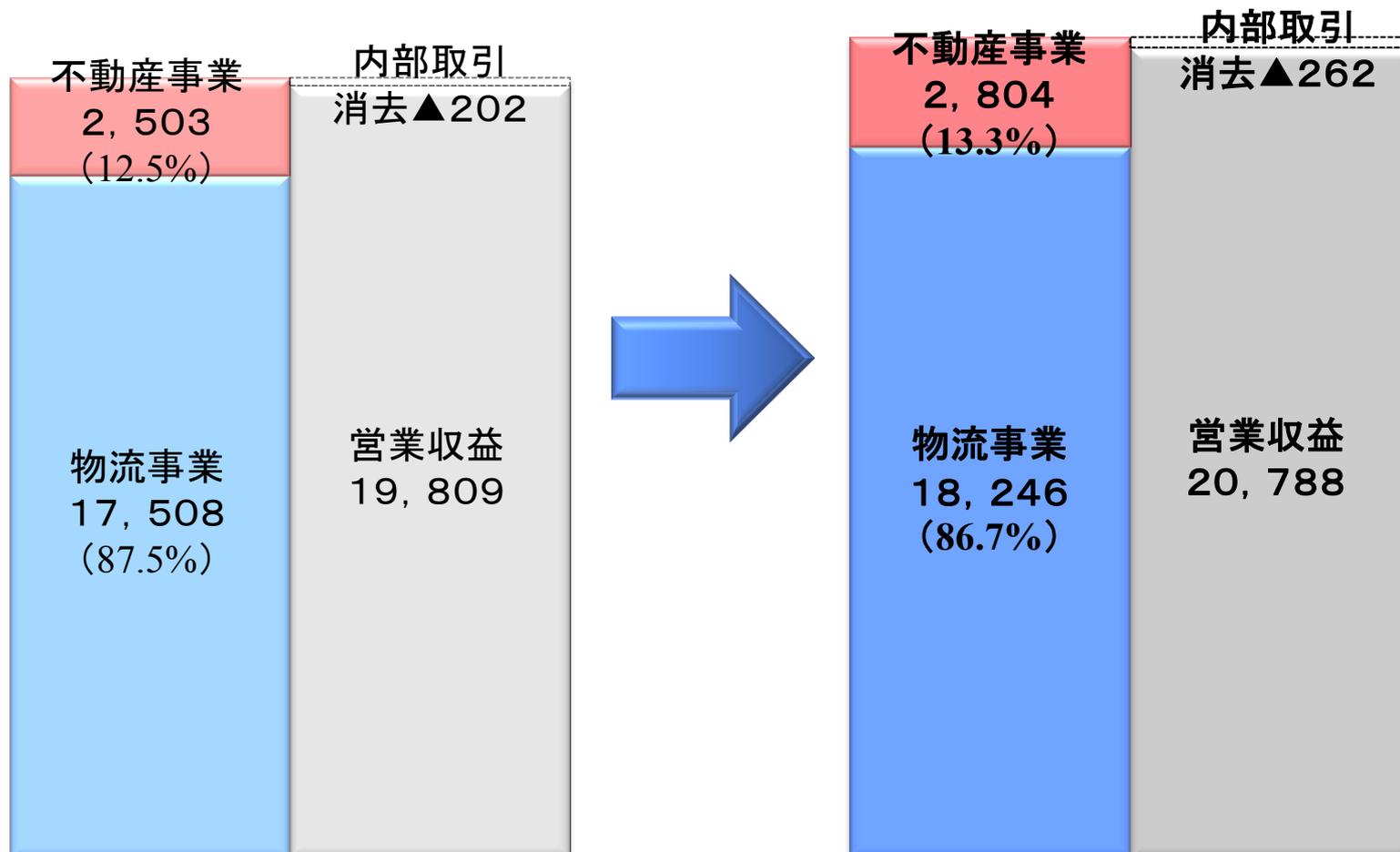
単位：百万円





# セグメント別営業収益

単位：百万円  
( )内は構成比

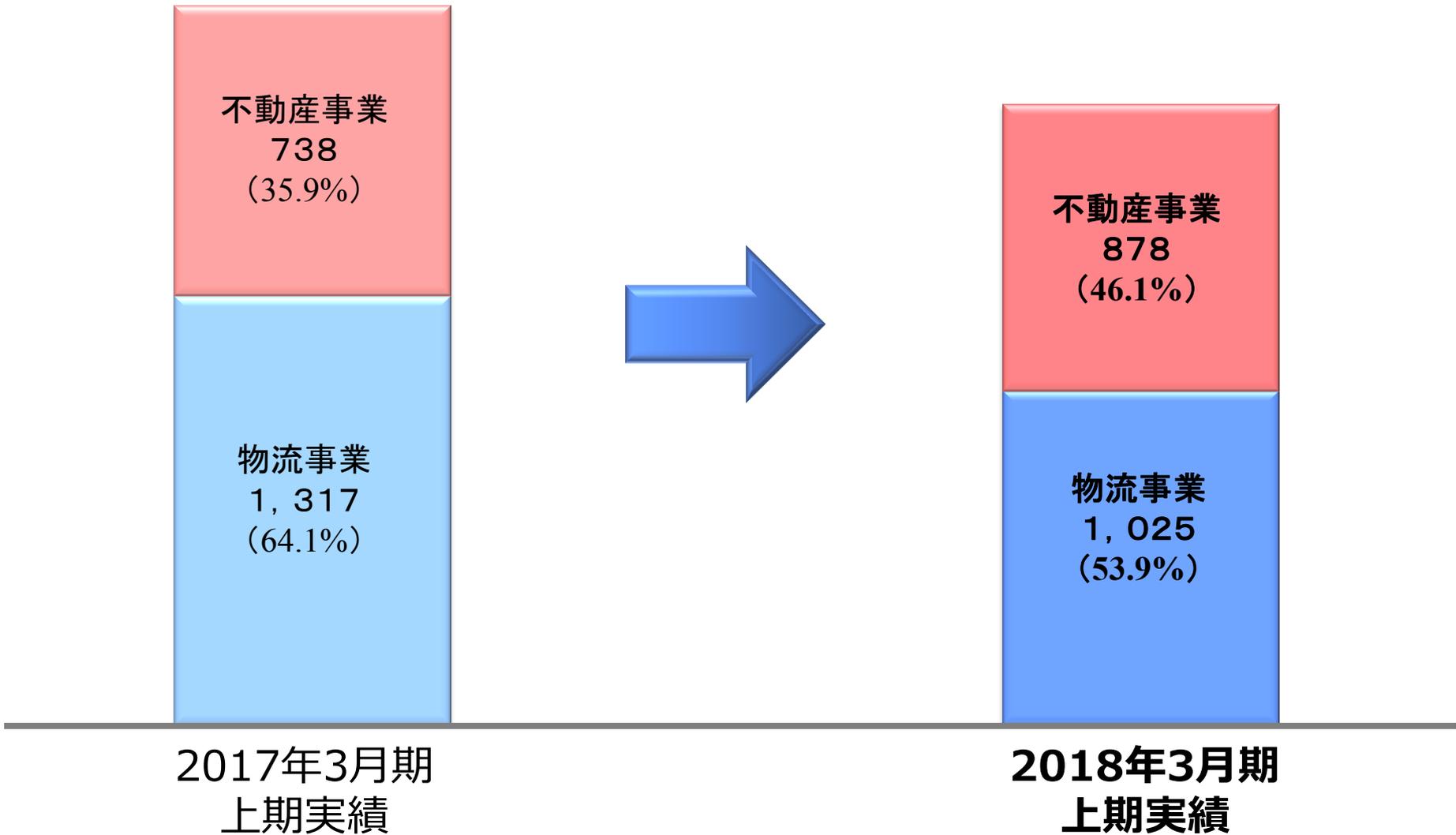


2017年3月期  
上期実績

2018年3月期  
上期実績

# セグメント別営業利益

単位：百万円



単位：百万円

### 保管料

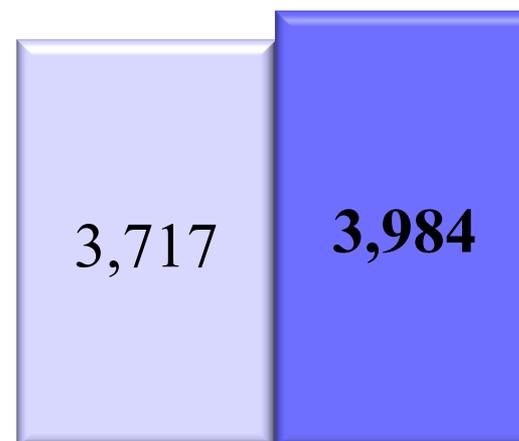
■ 前期上期 ■ 今期上期



一部顧客との取引減少により前期比減収

### 倉庫作業料

■ 前期上期 ■ 今期上期

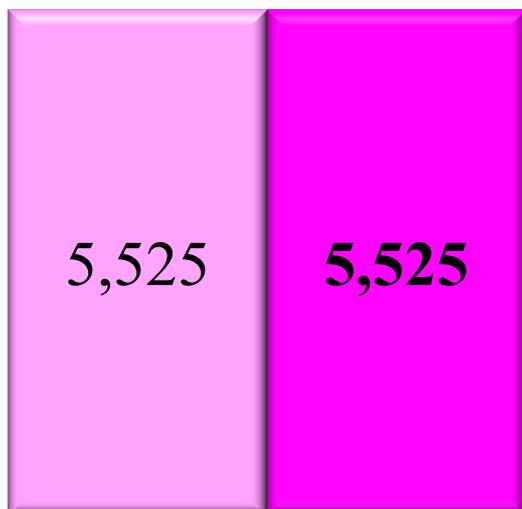


キitting業務の受注拡大や既存顧客との取引拡大などにより前期比増収

単位：百万円

### 陸運料

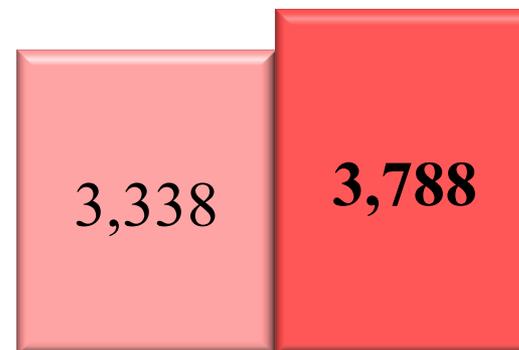
■ 前期上期 ■ 今期上期



広域輸送業務の減少があるも、既存取引の増加により前期比変動なし

### 国際貨物取扱料

■ 前期上期 ■ 今期上期



大型設備輸送の取扱増加や航空SP貨物の増加などにより前期比増収

単位：百万円

### 物流賃貸料

■ 前期上期   ■ 今期上期



新規顧客獲得により前期比増収

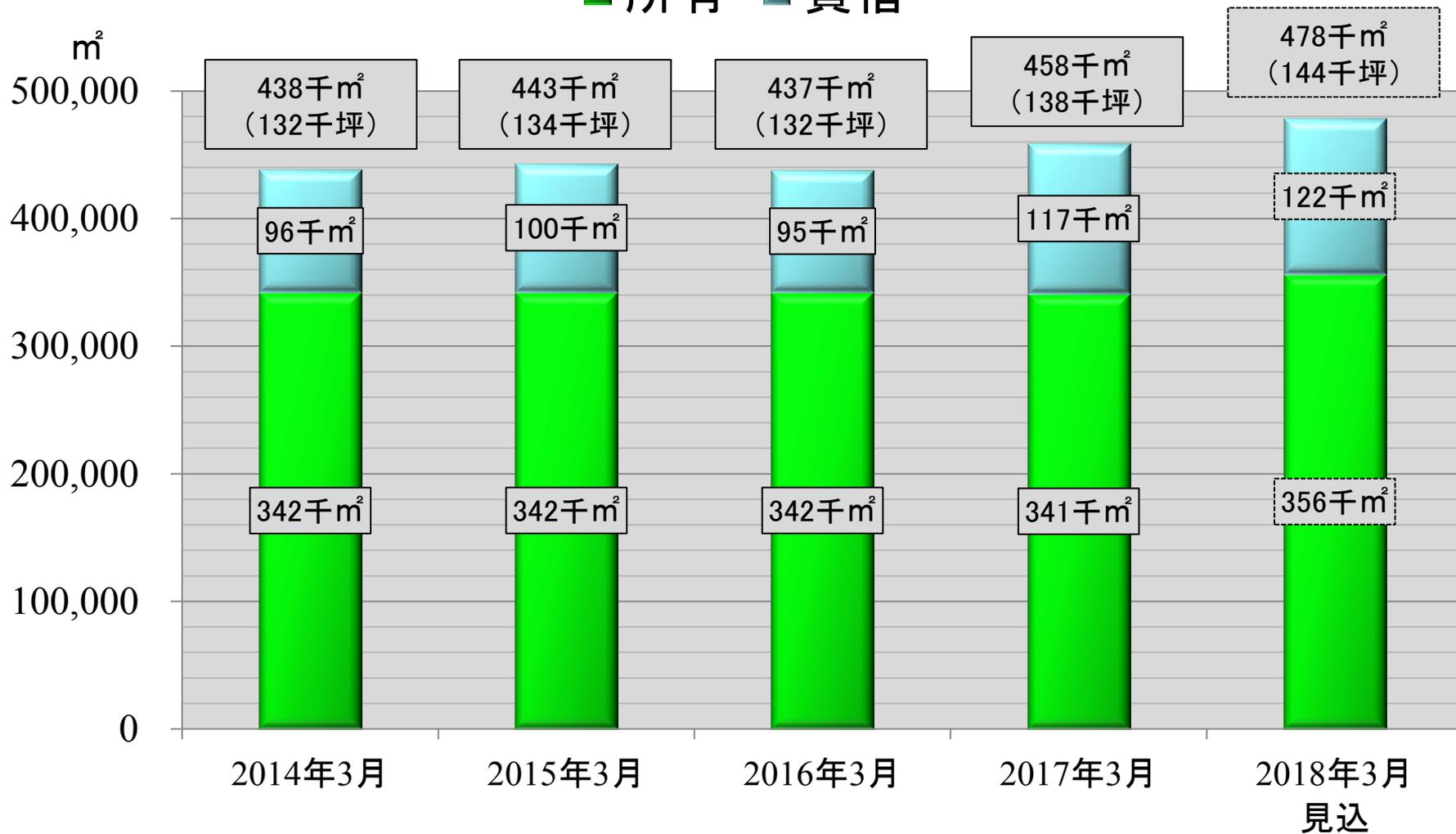
### その他(物流)

■ 前期上期   ■ 今期上期



前期比減収

■ 所有 ■ 賃借



## 九州営業所開設

- ◆名称：安田倉庫株式会社 九州営業所
- ◆所在：福岡県三井郡大刀洗町大字高樋1708番地4
- ◆敷地面積：約5,000坪
- ◆延床面積：約5,500坪
- ◆主要構造：鉄骨造
- ◆階数：地上2階
- ◆特徴：  
鳥栖JCT・鳥栖工業団地に近く  
九州全域をカバーする、  
広域物流拠点の適地。  
定温・冷蔵倉庫設備を保有し貨物の  
温度管理保管が可能。



(倉庫外観)

# 中国(上海) 1号倉庫開設・2号倉庫着工

◆所在	上海市青浦区青浦工業園区新枝路66号	
◆敷地面積	約11,550坪	
	1号倉庫	2号倉庫
◆延床面積	約2,830坪	約7,850坪
◆主要構造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造
◆階数	1階、一部2階(事務所)	3階
◆スケジュール	平成29年2月竣工 平成29年4月開設	平成29年9月着工 平成30年7月竣工予定



(1号倉庫外観)



(2号倉庫イメージ図)

## 平和島営業所 第二倉庫開設

- ◆名称：安田倉庫株式会社 平和島営業所第二倉庫
- ◆所在：東京都大田区平和島3丁目2番12号
- ◆延床面積：約2,700坪
- ◆主要構造：鉄骨造
- ◆階数：地上5階
- ◆特徴：  
平和島IC至近に位置し、  
東京港・羽田空港への  
アクセスに優れる



(倉庫外観)

# エコシップマーク認定を取得

- ◆国土交通省海事局が推奨する取組の一つで、モーダルシフトによってCO<sub>2</sub>の排出量を陸上輸送より約1/5に削減が見込まれる改善を図ったとして認証を取得
- ◆大阪～九州間においてフェリーを利用した配送を実現し環境配慮型物流サービスを提供
- ◆特に貢献度の高い「優良事業者」として国土交通省より表彰



## 1. 新規取引の開始

- (1) 生活家電の保管業務 . . . 大黒/YCC営業所
- (2) 物流機械部品の保管業務 . . . 中国上海

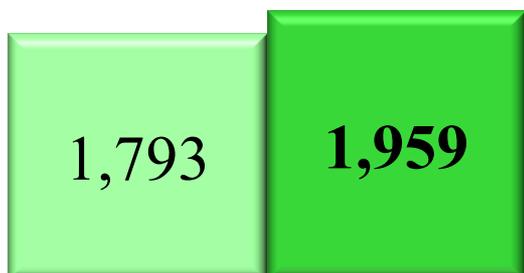
## 2. 既存取引の拡大

- (1) キッチン業務拡大 . . . ITキッチンユニット
- (2) 医療機器の保管業務 . . . 大井ふ頭営業所
- (3) 通信販売用衣料製品の保管業務 . . . 中国上海
- (4) 加熱式タバコの検品／加工業務 . . . 守屋町営業所
- (5) 健康器具製品の保管業務 . . . 大阪営業所
- (6) 調理家電の保管業務 . . . 新山下営業所
- (7) 大型設備の国際輸送業務 . . . 国際輸送センター

単位：百万円

### 不動産賃貸料

■ 前期上期 ■ 今期上期



賃貸ビル取得により前期比増収

### その他(不動産)

■ 前期上期 ■ 今期上期



工事の受注増加などにより前期比増収

# 横浜市神奈川区鶴屋町再開発

◆所 在：横浜市神奈川区鶴屋町（横浜駅西口徒歩3分）

◆敷地面積：約500坪

◆施設構成：ホテル、商業施設

◆延床面積：約3,000坪  
・ホテル部分 約2,180坪  
・商業施設部分 約620坪

◆建物規模：地下1階  
地上13階

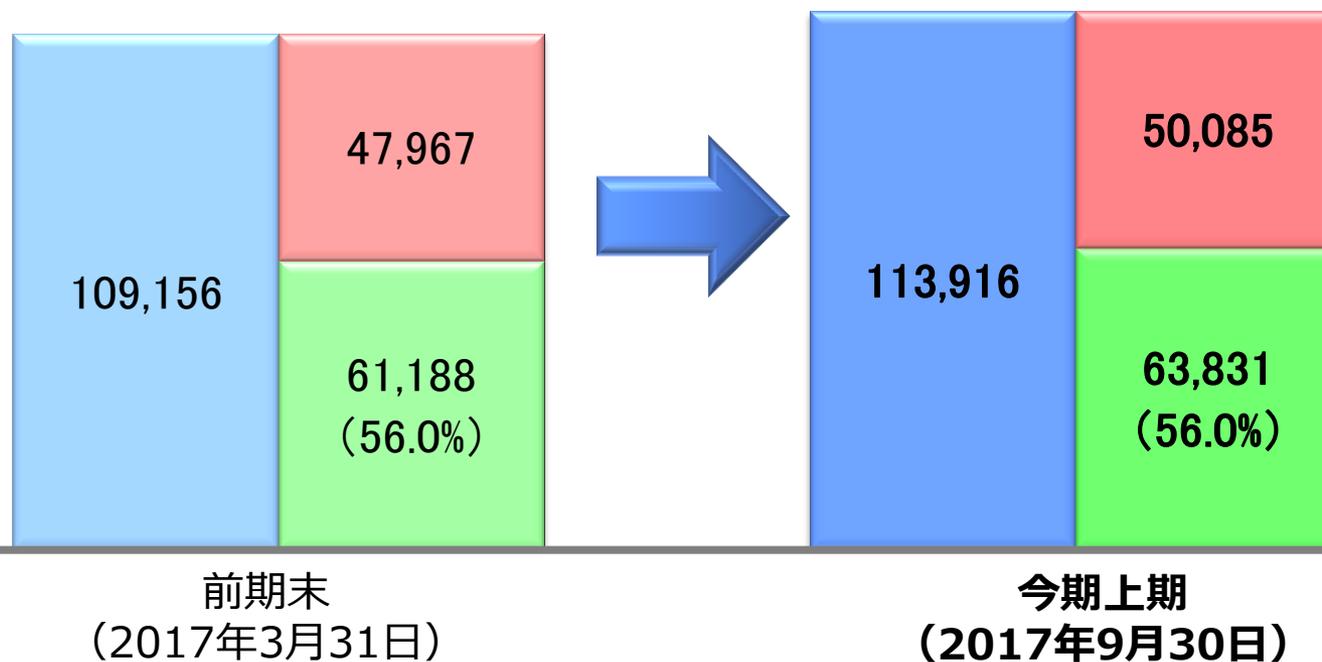
◆スケジュール：  
平成28年 3月着工  
平成29年12月竣工予定



(完成イメージ図)

■ 総資産 ■ 純資産 ■ 負債

単位：百万円



## 主な要因

- ◆ 総資産：有形固定資産 (+ 2, 0 4 2 百万円)  
投資有価証券の時価評価 (+ 3, 0 4 0 百万円)
- ◆ 負債：長期借入金 (+ 1, 8 9 8 百万円)
- ◆ 純資産：有価証券評価差額金 (+ 2, 0 5 8 百万円)

単位:百万円

	前期上期	今期上期	前期比	主な要因
営業活動によるCF	+2,028	+1,058	▲970	法人税等の支払額の増加、未払消費税等の減少などにより前期を下回った
投資活動によるCF	▲3,376	▲3,428	▲52	有形固定資産の取得による支出が増加し前期を下回った
財務活動によるCF	+826	+1,801	+975	主に借入金の増加により前期を上回った
四半期末残高	2,609	3,315	+706	

単位:百万円

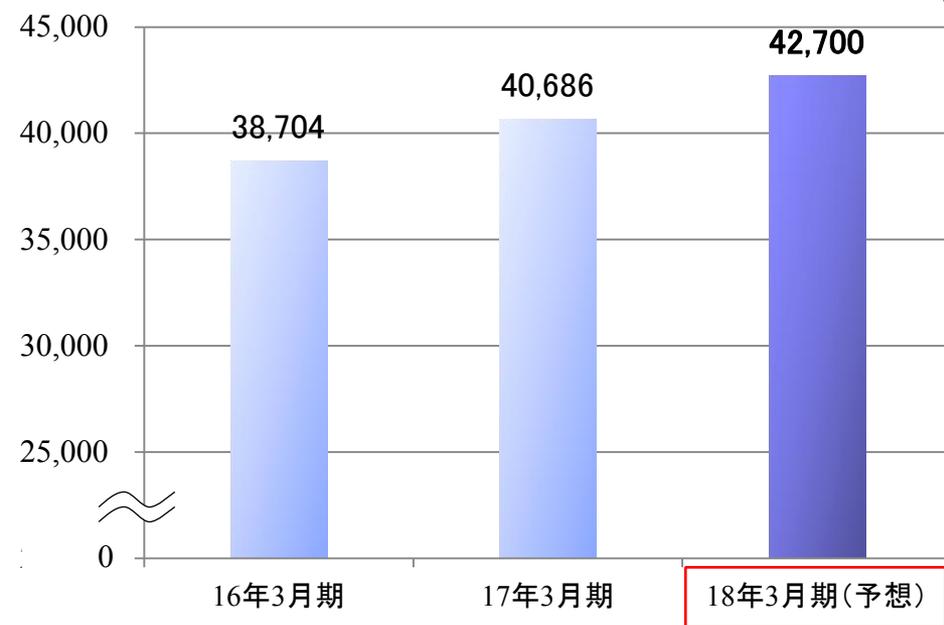
	前期上期	今期上期	増減額	今期通期 (計画)
設備投資額	3,085	3,347	262	10,244
主な投資案件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴屋町ホテル建設</li> <li>・倉庫施設新設関連投資 など</li> </ul>			
減価償却費	1,198	1,143	▲55	2,511
期末借入金残高	26,229	26,787	558	28,438

### 3. 2018年3月期 通期の見通し

---

## 営業収益

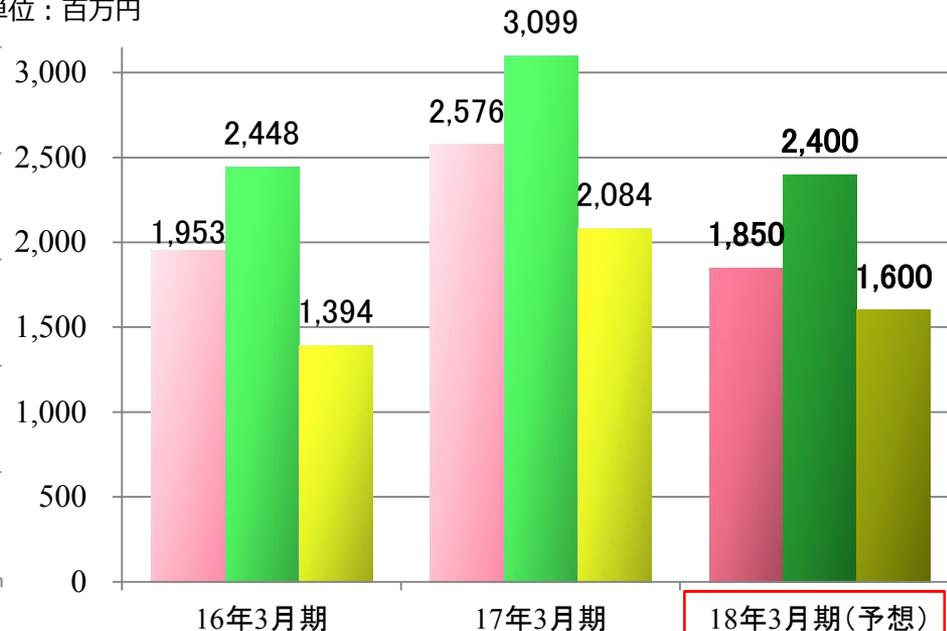
単位：百万円



	前期比	
	増減額	増減率
営業収益	2,014	5.0%

## 営業利益 経常利益 親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



	前期比	
	増減額	増減率
営業利益	▲726	▲28%
経常利益	▲699	▲23%
当期純利益	▲484	▲23%

### ◆通期業績予想は据え置き（平成29年5月10日公表）

- ・メディカル分野やIT機器取扱分野における取引の拡大や大型設備輸送案件の獲得により営業収益、営業利益ともに通期予想達成を見込む

- ◆ 運送ネットワーク（Y's LINER）の拡大
- ◆ メディカル物流の拡大  
（平和島営業所第二倉庫、九州営業所の活用）
- ◆ I T キットティング業務の拡大
- ◆ インドネシア現地法人の営業開始
- ◆ 上海青浦2号倉庫の建設取組

## <配当方針>

安定配当を基本としつつ、利益水準等を勘案して決定

2014年3月期	年間配当14円	(連結配当性向27.2%)
2015年3月期	年間配当14円	(同26.0%)
2016年3月期	年間配当14円	(同30.5%)
2017年3月期	年間配当14円	(同20.3%)
2018年3月期	配当水準維持予定	

**年間配当14円予定**

**(中間配当：7円、期末配当：7円)**

お客様を支える存在になる為に

**「中期経営計画2018」  
お客様のビジネスをサポートする  
グローバルな物流会社**

課題解決にスピーディーに応える  
ソリューション提案型営業の徹底

お客様に潜在するロジスティクス・  
ニーズをいち早くキャッチ

「品質」と「生産性」の向上

# YASDA



当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。